

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

鉄道建設本部 北陸新幹線建設局

局長 片山 正 様

北陸新幹線（仮称）上越駅の整備に関する

要 望 書

平成16年4月8日

上 越 市
上越市議会

<要望>

新幹線新駅の整備にあたっては、利便性が高くかつ地域のシンボルとなるよう、市が取りまとめた「(仮称)上越駅の基本コンセプト・機能・デザインテーマ」に配慮くださるようお願いいたします。

<要望理由>

新幹線は、今後のますます高まる地域間都市競争の中で、欠くことのできない社会基盤であり、地域の特色ある自然や歴史文化とともに重要な資源となるものであります。地域にもたらすさまざまな分野での波及効果に寄せる期待は大きく、中でも都市のシンボルとなる駅舎には強い関心を寄せております。

市としても新幹線の持つ広域的な高速交通としての機能を踏まえ、上越地域全体の玄関口にふさわしい駅周辺のまちづくりに取り組んでおります。

駅舎の建設は、その2工事の認可を受けて行なわれることとお聞きしておりますが、駅の下部となる土木構造物の詳細設計も始まる段階を迎えております。

このため、市では市議会とともに、駅舎整備のためのコンセプトをはじめ駅機能やデザインについて検討を重ね、このたび別紙のとおり取りまとめました。

今後の駅舎建設に当たりましては、新幹線駅に寄せる地域の熱き期待をご理解いただき、上越地域の特性を踏まえた駅舎の整備についてご配慮くださいますようお願い申し上げます。

上 越 市 長

上越市議会議長

(仮称) 上越駅の基本コンセプト・機能・デザインテーマ

<基本コンセプト>

【基本コンセプト1】 のび行くまちと融合した駅空間	○駅と広場と都市が融合した新しい関係 ○都市施設としての魅力ある駅空間づくり ・駅をまちに近く利用しやすい存在にするために、駅舎と駅広場の壁をなくして、広場を含めて全体で大きな「駅空間」と位置付ける。
【基本コンセプト2】 人と車の共存をめざして	○人と車の利用エリアの分離 ○P&R（パークアンドライド）、K&R（キスアンドライド）の積極的な導入 ・平面的、立体的に人と車の動線を分離し、人が安全にかつ安心して歩行できるスペースを確保する。また、単なる交通広場から、駅空間の一部としての駅広場を提供する。
【基本コンセプト3】 人が安心してひと時を過ごせる駅広場	○交通スペースから分離された人のための憩いの広場 ○隣接する公園とつながりのある空間 ・交通動線を整理し、デッキ（シンボルステージ）を用いることによって、人と車の動線は分離され、安全かつ安心して駅を利用できる。また広く確保されたスペースは、緑化を施したり、イベントスペースを設けるなどして、潤いのある楽しい広場を演出することが可能である。
【基本コンセプト4】 東西地域を結ぶ駅広場と一体となった自由通路	○広場の一部としての自由通路とデッキ ・東西にデッキを設けて広場の中心と位置付けることで、線路によって地域が分断されることなく駅空間を形成する。また駅舎とバス等の乗り場は最短ルートでアクセスされる。
【基本コンセプト5】 人にやさしいわかりやすい駅空間	○視認性が高く、わかりやすい平面計画 ・改札、エスカレーター、エレベーター等の主要機能が容易に認識できる空間構成とし、複雑なサイン等に頼ることなく移動できる計画とする。また、わかりやすいサイン、インフォメーションの充実やエレベーターを連続して設けるなど、ユニバーサルデザインにも考慮する。
【基本コンセプト6】 妙高軸と日本海をまちのシンボルとして	○上越固有の駅づくりをめざして ・上越の人々に愛される妙高山。駅から妙高山を結ぶ軸を妙高軸と称して、駅空間を構成する要素として用いる。 ・もうひとつのまちのシンボル日本海のイメージを要素に

駅機能

<機能>

コンコース	○視認性が高く、機能的でわかりやすい平面プラン ○明るい開放的な空間構成 ○温かみのある、人にやさしい内装デザイン
自由通路	○レベル差の無いフラットな通路 ○駅広場の一部としての開放的な空間構成 ○広場的な交流の場としても利用できる通路（土木構造体の中で可能な最大限の幅員確保） ○上越の歴史や文化を感じるゆとりの空間演出 ○憩いの場、待ち合わせ広場 ○情報提供の機能
プラットフォーム	○上越とわかる特徴あるデザイン ○街並みの見える明るいホーム ○安全に十分配慮した計画（ホーム橋の設置、床が雨、雪に濡れない上屋の設置）
休憩・待合スペース	○ラチ内外に設置 ○会話の生まれる+αの空間提供 ○地場産の木を使った安らぎのあるデザイン ○住民の作品展示等による楽しい待ち時間の過ごせる場
外部（駅前広場から駅出入口）	○雪や雨でもぬれない動線計画、サイン計画 ○デッキ（シンボルステージ） ○視認性が高く特徴ある出入口デザイン（堂々とした出入口）
全般	○わかりやすい平面計画、サイン計画 ○歩きやすい路面 ○音声案内システムの導入 ○誘導ブロックの連続敷設

駅デザイン

<デザインコンセプト>

- 上越のシンボルとなりうる駅
- 雪国の自然と歴史・文化を感じる駅
- 日本海に開かれたまちの玄関口
（首都圏から日本海側に最初に出る駅）
- 妙高山と日本海をまちのシンボルに
- 対話のある駅空間

<キーワード>

- 歴史の風格と未来
- *歴史性という重要な地域資源を有するとともに、環日本海に開かれた国際的発展（対岸交流）を目指す都市であることから、歴史の風格と未来を予感させる、開かれた明るいイメージ

<イメージカラー>

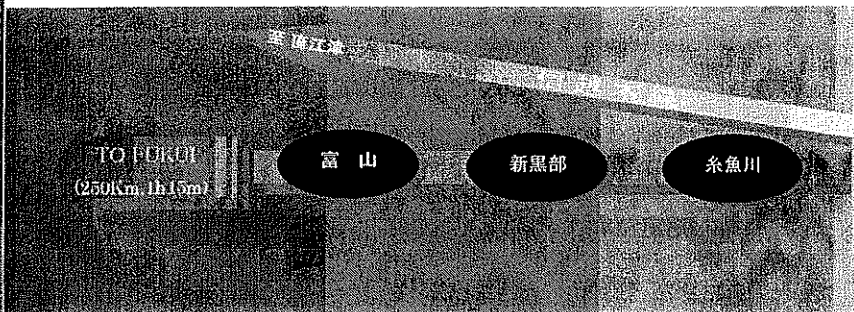
- 日本海の青（紺碧）
- 雪国の純白
- 高田公園三大夜桜の桜色
- 森の都、田園地帯の緑色
- 稲穂の黄金色

<デザインテーマ>

- 妙高連山の懷に抱かれた、歴史と文化の息づく城下町駅
- 雪国上越の風景にとけこんだ歴史駅
- 日本海と対岸交流への拠点駅（日本海側の中心に位置し、対岸交流を見据えた、外に向かう上越をイメージした駅）

Design Theme & Concept デザインコンセプト・デザインテーマ

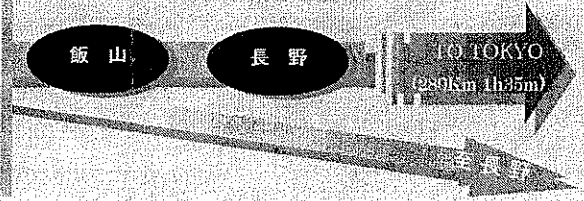
Back Ground



(仮称)上越 駅

<長野・大都市とのゲートウェイ>

- 新潟県の中核駅
- 観光拠点
- 周辺地域へのサービス拠点
- 信越本線への乗換駅



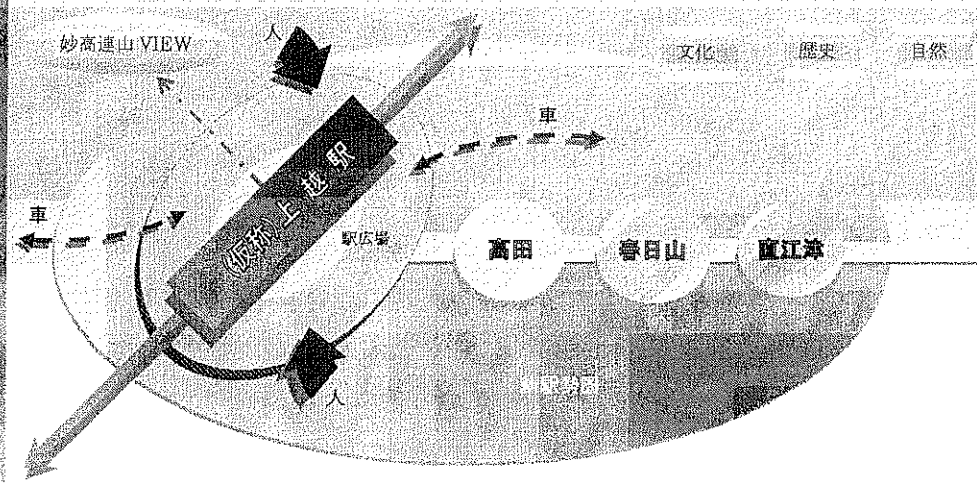
コンセプト

- ◆地域の特性
- 歴史と文化の息づくまち 上杉謙信公…
 - 豊かな自然環境を抱くまち 妙高連山…
 - 豪雪地 雪との共生 スキー発祥の地、雁木…
 - 日本海 日本海を中心に位置するまち 東京に一番近い日本海 夕日・人魚…
 - 市の木 サクラ、高田公園の夜桜(日本三大夜桜)…
 - 米どころ 頸城平野、稲穂…
 - 観光拠点 妙高スキー場、歴史探訪、夜桜…
 - 全国住みよさランキング上位のまち上越
 - 広域的な駅勢圏 佐渡から妙高地区までを視野に入れて
 - 各地区で拡大しつつあるまちの拠点
 - 直江津地区
 - 高田地区
 - 春日山地区(市役所周辺)
 - 脇野田地区(新駅周辺)
- 新しい時代のまちの拠点として、
ひとのための駅空間づくり
～地域の総合力を高める駅をめざして～

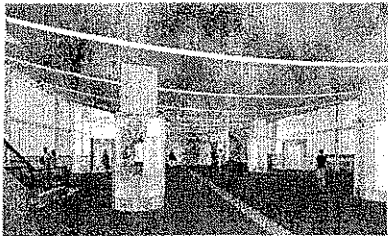


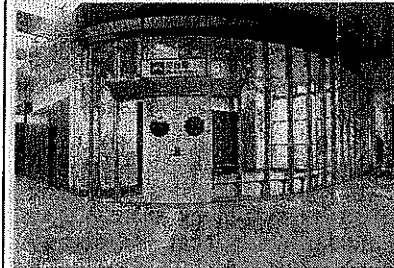


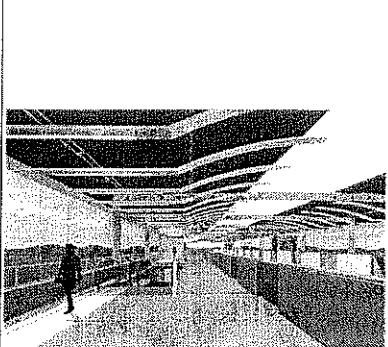
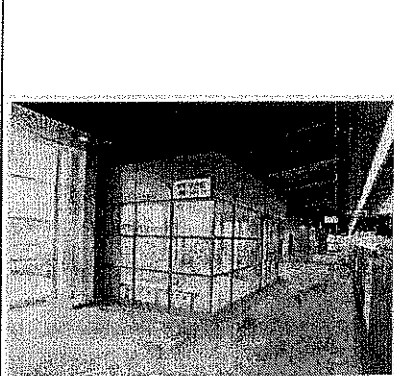
イメージ

- 『上越のシンボルとなりうる駅』
『雪国の自然と歴史・文化を感じる駅』
『日本海に開かれたまちの玄関口』
(首都圏から日本海側に最初に出る駅)
『妙高山と日本海をまちのシンボルとして』
『対話のある駅空間』
- Key Word
“歴史の風格と未来”
- イメージカラー: 青(紺碧) 純白
桜色 緑 黄金(稲穂)
- 都市機能と融合した駅施設
 - 新しい、駅と広場
 - 交通広場から駅機能をもった広場へ
 - 広場の中の駅
 - ひとにやさしい分かりやすい駅
- 新時代の駅
“駅機能としての広場”の提案

- ・妙高連山の懷に抱かれた、歴史と文化の息づく“城下町駅”
- ・雪国上越の風景にとけこんだ“歴史駅”
- ・日本海と対岸交流への拠点駅
(日本海を中心に位置し、対岸を見据えた、外に向かう上越をイメージした駅)



駅機能

コンコース	自由通路	プラットホーム	休憩・待合スペース	外部（駅前広場から出入口）
<ul style="list-style-type: none"> ■視認性が高く、機能的でわかりやすい平面プラン ■明るい開放的な空間構成 ■温かみのある、人にやさしい内装デザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ■レベル差の無いフラットな通路 ■駅広場の一部としての開放的な空間構成 ■広場的な交流の場としても利用できる通路（土木構造体の中で可能な最大限の幅員確保） ■上越の歴史や文化を感じるゆとりの空間演出 ■憩いの場、待ち合わせ広場 ■情報提供の機能 	<ul style="list-style-type: none"> ■上越とわかる、特徴あるデザイン ■街並みの見える、明るいホーム ■安全に十分配慮した計画（ホーム柵の設置。床が雨、雪に濡れない上家の設置） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ラチ内、外に設置 ■会話の生まれる、+αの空間提供 ■地場産の木を使った、安らぎのあるデザイン ■住民の作品展示等による、楽しい待ち時間の過ごせる場 	<ul style="list-style-type: none"> ■雪や雨でも濡れない動線計画・サイン計画 ■デッキ（シンボルステージ） ■視認性が高く特徴ある出入口デザイン（堂々とした出入口）
【イメージ図・参考事例】	【イメージ図・参考事例】	【イメージ図・参考事例】	【イメージ図・参考事例】	全 般
				
				<ul style="list-style-type: none"> ■わかりやすい平面計画・サイン計画 ■歩きやすい路面 ■音声案内システムの導入 ■誘導ブロックの連続敷設

計画平面概念図

のび行くまちと融合した駅空間

- ・駅と広場と都市が融合した、新しい関係
- ・都市施設としての魅力ある駅空間づくり
- ・駅と広場を一つの「駅空間」と位置付ける

人にやさしいわかりやすい駅空間

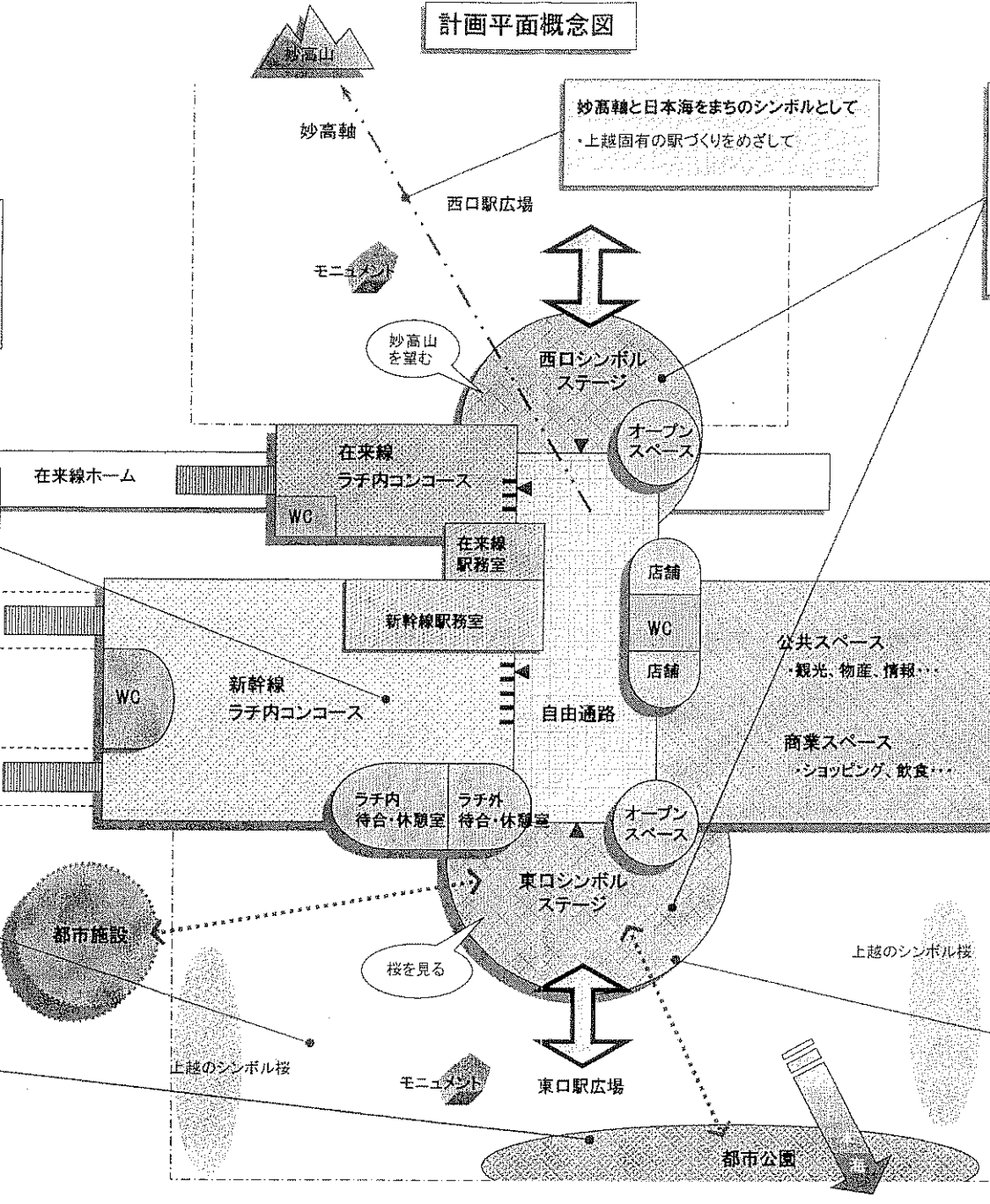
- ・視認性が高く、分かりやすい平面計画
- ・シンプルなプラン
- ・改札、エスカレーター、エレベーター等の主要機能が容易に認識出来る空間構成
- ・ユニバーサルデザインの思想を取入れた、誰にでも使いやすい計画

人と車の共存をめざして

- ・平面的、立体的共に人と車の利用エリアを分離し、人が安全かつ安心して歩行できるスペースを確保する
- ・P&R(パークアンドライド)、K&R(キスアンドライド)の積極的な導入
- ・交通広場から、駅空間の一部としての駅広場の提案

人が安心してひと時を過ごせる駅広場

- ・交通スペースから分離された人のための憩いの広場
- ・緑の広場、イベントスペース、桜並木...
- ・隣接する公園とのつながりがある空間



妙高軸と日本海をまちのシンボルとして
・上越固有の駅づくりをめざして

東西地域を結ぶ駅広場と一体となった
自由通路とデッキ(=シンボルステージ)

- ・駅広場の一部としての自由通路と東西のデッキ
- ・安全な歩行者空間の確保
- ・東西地域をつなぐ役割として
- ・駅広場と一体感のある自由通路空間
- ・各交通手段へのアクセスルート

エスカレーター・エレベーター

- ・視認性の高い配置、デザイン
- ・シースルーエレベーター
- ・連続性のある設置
- ・音声案内

(新幹線ホーム)

インフォメーション

- ・分かりやすいサイン
- ・インフォメーションセンター
- ・情報端末
- ・音声案内
- ・情報掲示板

雪・雨対策: 現代の雁木

- ・大庇
- ・デッキ(=シンボルステージ)下の積極的な利用
- ・滑りにくい床 融雪、消雪装置...